

CELULAS



NPO法人多言語広場セルラス

2016
Vol. 5

世界に通じる人材の育成をめざして

CONTENTS

P.2-3 セルラス「多言語教育」講演会に行こう！
実はわかっていなかったセルラスのこと
講演会に初めて参加された方の声より
理事長の声

世界に羽ばたく子どもたち

～アメリカ公立高校交換留学プログラム～

P.4-5 特集：『セルラス夏の大冒険！2016』

青少年サマーキャンプ

「韓国の友だちアンニョンハセヨ！」

青少年ホームステイ交流

青少年アメリカホームステイ交流

P.6 セルラスが出会った留学生

～セレム・ギデオン・キプター（ケニア）～

世界のレシピ

～作ってみよう！ ノノのコシーニャ@ブラジル～

P.7 お父さんの目線 ～息子のドヤ顔を見るのが嬉しくて～
お父さんの輪を広げよう！

セルラスクイズ

P.8 スーパーピアザだより

INFORMATION 多言語活動フォーラム2016開催



セルラスの「多言語教育」 講演会に行こう！

実はわかっていなかったセルラスのこと

「全然知らなかった。あー、こんなことならもっと早く理事長の話を聞いておくんだっとなあ」

活動6年目にして初めて講演会に参加し、私が思ったことでした。セルラスに家族4人で参加していますが、私自身は時々しか参加しません。でも、セルラスの活動内容は知ってるつもりでした。しかし話を聞き、「セルラスが目指しているもの」の根底となる思想や背景、なぜやるのか？何のために目指すのか？を改めて知ったのです。

理事長の話はとても興味深い内容でした。

セルラスの目指すもの、その成り立ち、何十もの多言語を話す人のことや、シャドーイングの根拠となる音の話、教育の2020年問題など、これから取り巻く環境、背景、これから必要とされる力などです。薄々感じていた、これからの教育環境や必要とされる力。子どもたちにとって何が必要なかを、私自身の中で整理できました。

印象的だった音の話では、赤ちゃんがことばを話そうとする声を録音したものを実際聞きながら研究の話を受けて、セルラスが提唱している「文字や文法ではなく、音声から」という理由がよく理解でき、とても納得できるものでした。そして理解を深める中で、塾や習い事などは全く目的が違うこと、そもそも土俵が違うことがはっきりわかりました。

宮坂 一弘 (芦屋東ピアザ)
サウンドエンジニア 自営業



秋の講演会
行ってみたい
ください！

何かの知識を得たり、理解を深めることを目的とするなら、先生がいる教室は合理的かもしれません。しかし、コミュニケーション力・共感力・人間力は、一方向からだけでは培われにくいと思います。実践的な場で必要なのは、教えてくれる先生ではなく、仲間だということに気付かされました。

日本語が通じる環境の中でも、ミスコミュニケーションによる問題は日常的に起こります。

私たち大人は、自分なりに問題と人と向き合い、試行錯誤で解決を試みますが、上手くいかないことも多々あります。大人が日本語ですら大変なのに、ここセルラスの子どもたちは、多言語で、日常的に世界の人と向き合おうとしています。彼らは経験を通じて大きな力を自分で見つけ、つかもうとしています。彼らが大人になった姿が、今からとても楽しみです。

私は約1時間半の講話を聞いて、今までとセルラスの活動に対する見方が変わりました。私たち父親が、ピアザに行くことに抵抗があったら、ひよつとしたらセルラスの活動への理解不足かもしれません。少し話を聞くだけでこんなに得られる事があるなら、関わりを増やせば、もっと得られる事があるように思います。そうすれば、家族はもちろん、私たち父親自身も成長できるいい機会になるのではないのでしょうか。

理事長の声

セルラス 多言語活動でグローバル人材を！

NPO法人 多言語広場セルラス
理事長 鈴木 隆志

『アイデンティティを持たない外国人児童生徒に対して、どうかかわっていけばよいのか、在留外国人のご家庭と友好的な関係を築くために、私たち大人は何を学びどう行動に移していけばよいのか、そんなことを考えるきっかけとなるお話をいただけたらと思っています』

これは、東京都渋谷区の子ども家庭部 子ども青少年対策課からの要請で9月末に行われた講演会の依頼内容(概略)です。

数年前の夏活動報告会で、涙ながらに中国人のお母さんが、話してくれました。「日本に来て、息子は学校や色々なことで、とても悩んでいました。私も日本語が解らず、どうしてやることもできませんでした。そのうち息子は日本語を話せるようになりましたが、今度は家で中国語を話すのを嫌がるようになりました。『お母さん、恥ずかしいから中国語は話さないで…』日本に来て息子は何か大切なものを失っていくように見え、悲しい日が続いていました。それが、セルラスサマーキャンプから帰ってきて、突然、私に中国語でたくさん話してくれたんです」



セルラスの子どもたちが、中国人の子どもの生の中国語を聞いて嬉しくなり、同時にリスペクトも感じ仲良くなったのでしょう。母語はアイデンティティなのです。存在が認められることによって、中国人である誇りを彼は取り戻したようです。

今年も、セルラス青少年サマーキャンプは10カ国からの留学生を交えて行われました。セルラスの子どもたちは、彼らの国や言語、文化に興味を持ち、違いが大切な宝物であることを見つけています。多言語活動で複数の言語に触れていることは、それぞれの言語と文化、風俗、習慣などを通した価値観、幅広い視野、柔軟な思考をも育てます。また、グローバル社会で多様な背景を持つ人々と向き合い、違いを尊重し学びあえる姿勢をも必然的に育んでいるのです。

学校や地域社会の課題として、毎年増え続けている在留外国人児童生徒の対応を考えるのは重要です。しかし、一方では、日本全体が100年未来のグローバル社会に向けて、国民意識の大改革を考えてみる必要があるのではないのでしょうか。日本全国の幼稚園、小・中学校で多言語活動を導入し、世界の様々な分野で活躍する人材を育て、また日本の多言語・多文化共生社会が世界から認められる、そんな未来を目指して、今後も肅々と『世界に通じる人材育成』を目的に、多言語活動を推進して行きましょう。

～ 講演会に初めて参加された方の声より ～

大島 清子 さん 中学英語教師

英語だけでも大変な日本において、与えられたものではなく、自分たちで多言語活動をし、環境をクリエイティブしている団体の存在を知り、大変衝撃を受けました！講演会でセルラスの環境について詳しく伺い、理想的な環境を創っていると感動しました。それぞれの国の美德や習慣、考え方は、実際に人と接することでしか理解することは難しいので、多言語活動を通し、様々な国のことばに慣れ親しみ、人と交流している事は素晴らしいと思いました。

勉強ではなく、活動を通して身に付けたものは、必ず自身の中に残り、将来役立つものになると思います。また、親子で活動しているところにも魅力を感じました。親子で活動することで自然と親子間でコミュニケーションが生まれるからです。これからもセルラスの活動を応援しています！皆さん頑張ってください。

岩本 朋恵 さん 大学院生

海外で数年間保育士を経験し、その後日本に帰国、日本に必要な国際性について考えていたところ、講演会の案内を目にし、参加させていただきました。

講演会の内容は、私が思っていることも多く、大変勉強になりました。後日開催された、体験会にも参加させて頂きましたが、子どもたちが生き生きと多言語で挨拶や自己紹介をしていて、感動しました。また、子どもたちがお互いを認め合い、自分たちで考えて司会進行していく姿から、この環境で人と関わる積極性を培っていることを感じました。また次回の講演会にも参加させていただきます。

世界に羽ばたく子どもたち

～アメリカ公立高校交換留学プログラム～



FREMONT High School

三宅 咲良

大阪市在住 高校2年生
中学1年生から家族でセルラスの活動に参加

私はユタ州の7人家族、動物8匹のビッグファミリーにホームステイしています！何でも沢山挑戦して、素敵な思い出をいっぱい作ってきます！

決断!!!

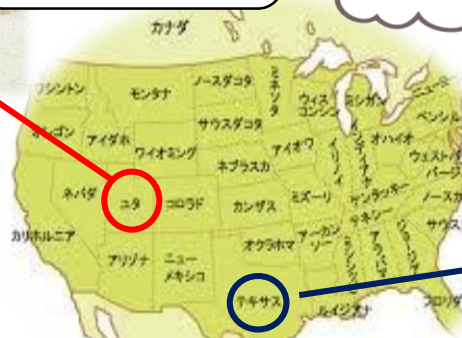
留学するなら部活を辞めないといけない。仲良い友達と修学旅行に行けない。大変なことがきっとたくさんある…等々、私は決断に悩みました。そんな時、理事長に「何かするかどうか悩んだ時は、マイナスのことではなくプラスのことを考えた方がよい」とアドバイスをもらったことで、私はプラスの考え方に変わり、ワクワクした気持ちで留学を決心することができました。

自分は赤ちゃん？

英語はまだ正直わからないときが多いのですが、先日気付いたことがあります。それは、僕は彼らの英語を日本語訳で理解しようとするから会話のスピードに間に合わないのだと。話そうとする英語をいちいち日本語で考えていたら、こんな風には言わないかな～とか思ってしまうのです…。日本語と英語は別のものだと思って、ここで生まれた赤ちゃんのようにことばを習得したいです！先日、Spanishの授業でスペイン語で自己紹介したら、先生やスペイン語がネイティブの友達に褒められて凄く嬉しかったです。言葉を何も知らない(0の状態)と、少しでも知っている(1の状態)では全く違うということを実感しました。セルラスの、英語だけでなく多言語を習得しようとしている理由が少し分かった気がします。



今年の8月に、アメリカ公立高校交換留学プログラム(NPO法人ユートレックと提携実施)で、セルラスから2名の高校生がユタ州・テキサス州にそれぞれ旅立ちました。ドキドキの出発から早2カ月が経とうとしていますが、これから約1年の彼らの頑張りを、セルラスメンバー全員で応援していきたいと思います。HPでは、彼らの奮闘ぶりを、マンスリーレポートとして紹介しています。是非ご覧ください！
<http://www.celulas.or.jp/highschool.html>



樋田 奨平

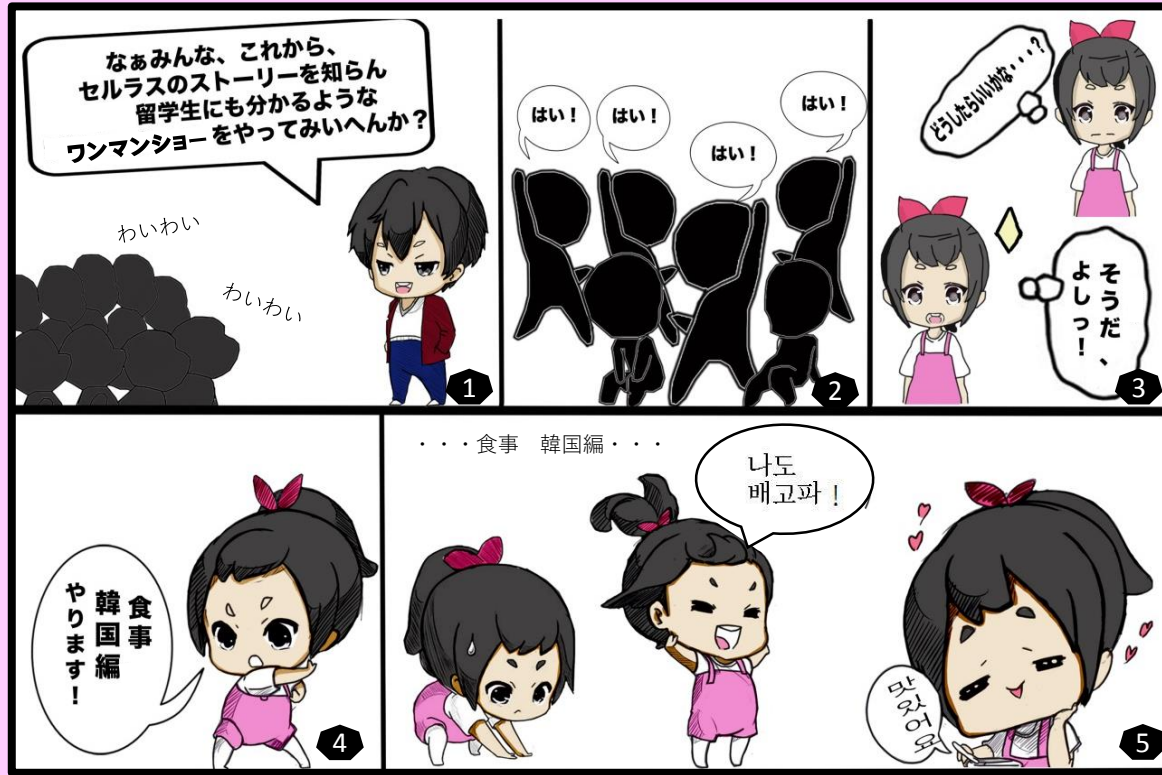
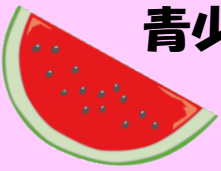
横浜市在住 高校2年生
小学3年生から家族でセルラスの活動に参加

僕は、テキサス州の4人家族の家庭にホームステイしています。高校時代に外国で1年間過ごすことは、これからの人生に間違いなく大きな影響を与えてくれると思います。皆さんに成長した姿を見せられるように、頑張ります！

セルラス夏の大会！2016

青少年サマーキャンプ 2016 in 静岡 8.17(wed)~20(sat)

キャンプで見つけた ワンマンショーの変化！
「見せる」→「伝える」へ !!!



「韓国の友だち、アンニョンハセヨ！」青少年ホームステイ交流 2016

今年は小4~小6までの青少年が、お隣の国韓国で1家庭に1人がホームステイした、全8日間のプログラムです。いろんな場所に連れて行ってもらったり、ホストと一日中遊んだり、自分のできるお手伝いをしたり、家族の一員となって過ごしてきました。



翻訳機を使うのをやめてもらったら、ホストと心が通じ合えたよ。

数回の事前研修会では、親と子が一緒に準備をしていく中で、自分たち家族の在り方や関わり方に気がついたり、改めて親や子供の良いところや凄さを知ったり。本人だけでなく、親も、準備を通して心構えを学びました。

ソウルは高層マンションがいっぱい!



『ホームステイが楽しめるのは80%は自分次第!』という理事長の言葉を思い出して頑張りました!



맛있어!



ハングルって、けっこうむずかしい...



笑顔は世界共通。笑顔を大切にしました!

帰国後は、繰り返し自分の体験をことばにすることによって、その体験がどんなものだったのか、自分の足りないところに気づき、その時の相手の気持ちを考えることができるようになったり、親もこれからの子供との接し方を考えるいい機会になりました。観光旅行では決して味わうことのできない、一生ものの出会いと体験をしてきました。

～チャレンジの中でみつけたこと～

画：クリサンドラエ（ましろ）
フィリピン留学生リーダー



今回のサマーキャンプでは、グループ活動で、ロールプレイやワンマンショーに取り組み「多言語活動3原則」の体験についてのディスカッションもしました。そのグループ活動の中で、3原則を体験したと感じた場面がありました。



その後、留学生が、クメール語や、インドネシア語だけで話したワンマンショーも、子供たちはどんな場面なのか、だいたいわかりました。

このワンマンショーの発表は、人と向き合い、人と一緒に「想像力と創造力」「音声」「必然性」という多言語活動の3原則を実感した時間になりました。

青少年アメリカホームステイ交流 ～家族の一員となって過ごした1ヵ月～



家族の一員として家の手伝いを沢山しました!

筒井 温人 小学6年生



ホストの家には、ウォーターベッドがあったり、地下室やバスケットゴールもあって、セルラスのストーリーブックと同じでビックリしました。僕のアメリカホームステイでの目標は「お手伝いを沢山する!」でした。毎日、朝食の前に畑の草取りをするのが日課で、他にも皿洗いをしたり、洗濯物を畳んだり、料理の手伝いや、自分で日本食も作ってあげたりしました。

帰国してからも、この習慣が抜けなくて、いつも何か手伝いをしたくて、ついお母さんに聞いてしまいます。手伝いを沢山したら、お母さんの大変さもわかりました。

日本では見たこともない満天の星空を見れたり、世話をしていたヤギが1ヵ月の間にすごく自分になついてくれたり、友達も沢山できたし、家族の一員にもなれたし、最高の夏でした!

自分で決めた目標を思い出して頑張りました!

櫻木 みなみ 中学1年生

初めはなかなか話せなくて、私もFamilyも静かだったけど、行く前に自分で決めた目標、「積極的に話しかけて英語の壁をなくす」を思い出して、一緒に動物の世話をしたり、ピアノをひいたり、折り紙をしました。また、話している家族の目を見て絶対そらさないよう決めて、誰よりも早く反応できるように頑張っていたら、だんだん沢山話せるようになって、すごく家族と仲良くなれました。

野生のシカを目の前で見たり、ナマズのサンドウィッチを食べたり（意外と美味しかった!）、プールで遊んだり、飛ぶように過ぎて行った1ヵ月間でした。

帰国の時、ホストファミリーが「Family, Family!」と言いながらハグしてくれた時は、国籍や人種が違って家族になれるのだと思いました。私は一生Swift Familyの一員でいたいです!



セルラスが出会った留学生

セレム・ギデオン・キプトー（ギリ）
ケニア出身
信州大学大学院 建築学専攻修士2年



自己紹介

ケニアのセレム・ギデオンと申します。ギリと呼んで下さい。義理人情のギリと覚えていただければ、と思います。6年前に来日し、現在は信州大学大学院建築学専攻の修士2年生です。来年の春から国際石油開発帝石に就職が決まっています。

なぜ日本に留学しようと思った？

私は大学1年の時、JICAから来た建築の先生と出会ったことがきっかけで、日本に留学したいと思うようになりました。

セルラスとのかかわり

私は来日して間もなく、サマーキャンプのリーダー募集に応募したのが、セルラスとの出会いでした。面接では英語しか話せなかったのですが、子どもたちとうまくいか少し不安でしたが、キャンプの初日から子どもたちといっぱい遊んだり話したりして、私のつたない日本語を一生懸命聞いてくれる子どもたちと、どんどん距離が近づきました。あつという間に4日間は終わりましたが、最後のミーティングやクローージングセレモニーでは、キャンプの感想を、全部日本語で話している自分にとっても驚きました。日本語学校に戻ると、先生が私の日本語の上達に驚き、その後に行われた日本語の弁論大会では、優勝することが出来ました。

将来の夢

私はケニアの大統領になるという夢があります。ケニアにはアフリカ最大級のキベラというスラム地区があり、貧困や汚職などの問題を抱えていて、それを変えていくのは私達若い力だと思っています。そんな若者をまとめて力を発揮できるような社会にするために私は大統領になりたいです。



就職戦線について

私はいずれケニアに帰って仕事したいと思いますが、まずは色々な経験を積みたいと思い、日本で就職することを決めました。最初の面接では、エントリーシート丸暗記して臨んだけど、本番の時に忘れてしまい大失敗しました。それで、次の面接からありのままの自分でのぞみ、面接官の聞きたいことを素直に受け止め、自分の言いたい事をしっかり伝えるというコミュニケーションを大切にしました。それからうまくいくようになりました。



就職活動を通して、

- ①笑顔は世界共通の最強兵器
 - ②名刺を作ろう！
 - ③恋愛と同じ、片思いじゃ成立しない！
 - ④とにかく楽しむ！色々な人と出会え、行った事のない所に行ける。
 - ⑤普段よりもっとオープンな自分で挑戦
 - ⑥楽しくお話する、会話はキャッチボール
 - ⑦色々な事に関心を持つこと！
 - ⑧ご縁を大切に！
- 以上のことが大切だと思い、おかげで私は受けた6社全てから内定をいただきました。

セルラスにある大切なもの

私は2010年にセルラスに出会ってから、キャンプやピアザなど様々なセルラスの活動に参加してきました。その中でセルラスが大切にしているものは、就活して大切だと思ったことに全てあるなと思いました。特に「コミュニケーション力」と「人と向き合い、人と一緒に」ということはとっても大切と感じます。またセルラスで出会った沢山の人の絆は宝物です。セルラスで得た大切なものは、仕事やこれからの人生に生かしていきたいと思っています。最後に、ケニアの大統領になったときは応援に駆けつけてください。
Asante sana.



作ってみよう！ ノノのコシーニャ@ブラジル！

<<材料>> (16個分)



- ・オリーブ油 大さじ2
- ・塩 小さじ1
- ・にんにく 2片
- ・カイエンペッパー大さじ 1/4
- ・玉ねぎ 1/2個
- ・クリームチーズ 100gくらい
- ・鶏胸肉 1枚(皮無し)・パセリ 適宜



- ・バター 大さじ1
- ・サラダ油 50cc・強力粉 2カップ
- ・コンソメ 1個
- ・ベーキングパウダー 大さじ1
- ・牛乳 2カップ・卵黄 1個分



- ・パン粉 適宜・サラダ油 適宜・卵白 1個分・湯・水

●具を準備

- ①鶏胸肉は蒸して細かくほくしておく。パセリ、ニンニク、玉ねぎはみじん切りに。
- ②フライパンでオリーブ油・みじん切りのにんにく・玉ねぎ・塩をふりよく炒める。
- ③まず①を②に入れ軽く炒め、次に大さじ1のクリームチーズもませる。
- ④火を止め、カイエンペッパーとパセリを入れ、ませ合わせる。

●皮を作る

- ①鍋にバター・サラダ油とコンソメを溶かした湯(分量外)1.5カップを入れ沸騰させる。
- ②牛乳を入れ、再度沸騰したら弱火にし、ベーキングパウダーを混ぜた強力粉を入れ混ぜながらこねる。だんだんまとまってくる。卵黄も混ぜ、火を止める。
- ③バットにあげ、さましてから生地が滑らかになるようにこねる。

●具を包んで揚げる

- ①16等分にした生地を広げて、具とお好みでクリームチーズ少量を入れ、しずく型に包む。
- ②水少々でといた卵白をからめて、パン粉をつけ、きつね色にからりと揚げて出来上がり！

サマーキャンプ留学生リーダー



皮にマッシュポテトを練りこんでもgood!
工程は同じ。牛乳を入れる前に、茹でてつぶしたポテト200gを溶かして、強力粉は1カップで！

具は、ハムと溶けるチーズもおすすめ！
名前が「クロケッチ」にかわるよ！



お父さんの目線

息子のドヤ顔を見るのが嬉しくて

尾本 隆史 (溝の口ピアザ)

家電メーカー勤務 エンジニア



大家好！皆さん、こんにちは。溝の口ピアザの「おとん」です。今は関東（神奈川）住まいですが、生まれは関西（奈良）なので、「おとん」と呼んでもらっております。セルラスには妻と息子の3人で参加して、もうすぐ2年になりますが、ピアザには僕だけあまり参加できていません。それでも月1回の定時退社日の金曜日には顔を出して楽しんでおります。

月1回の参加だと、大人の方には顔を覚えてもらえているのですが、小さい子には「誰、このオジサン？」という感じになってしまいます。溝の口ピアザは小さい子供が多いので、僕を見ると固まってしまう子や、物珍しそうに見つめてくる子が沢山います。

しかし、そんな小さい子から大人まで色んな世代が集まっているのがセルラスの魅力だと思います。そして大人と子供が対等なこと、いや、言葉に関しては子供たちの方が一歩も二歩も先を行っているのが、真の魅力ではないでしょうか？

たぶん息子にとっては「親よりも自分の方が出来る事がある」というのがたまらなく楽しいのだと思います。(想像ですが)そして親だって「テキトーにやったら子供に置いてかれる」というのも好い刺激だと思います。

トランプにしたらバドミントンにしたら、まだまだ息子に負ける気はしません。

でも、韓国語は？スペイン語は？ええっ、ロシア語!?となると、これはもう私は真っ白な状態、私の人生のアドバンテージなんて屁のツツパリにもならないんですよ。(すいません、語彙がオヤジで…)

時々、夕食の時に息子が「チャルモゲスニダ」なんて言い出すと、こっちが「んんっ??」となっていると、もう一度ゆっくり「チャルモゲスニダ※」と言ってきます。その時のドヤ顔ときたら、もう、皆さんにお見せしたいくらいです。この顔を見ると「ああ、すごく嬉しいんだな」「自信をもって生き活きてるな」と、こちらも嬉しくなってきます。(「なにくそ!」と思う点は多々ありますが…)

この顔が見たくてセルラスに入ったわけではありませんが、この顔が見られるのは、セルラスのおかげだと思います。そして、これからもそんな息子と共に成長していきたいくて、私はピアザに足を運ぶのだと思います。

最近、お子さんのドヤ顔を見てないなあと思うそのお父さん！ピアザにちょっと顔を出してみませんか？

そこにはお父さんが見たこともないドヤ顔が、いえいえ、素敵な笑顔がきっとあると思いますよ。

※韓国語で「いただきます」の意味



お父さんの輪を広げよう！ ～納涼セルラスお父さん広場☆開催報告～



8/21、キャンプが終わった暑い夏の夕暮れ、関西が全国に先駆けて、セルラス初の納涼お父さん広場を開催いたしました。

なかなか、ピアザに顔を出すお父さんたちが少ない中、きっとお父さんたちだけで集まってみたら、色々本音の話も聞けるんじゃないか？ということで、まずはビールでのど喉を潤しながら話してみませんか？と梅田ピアザと芦屋東ピアザのお父さんメンバーが関西のお父さんたちに呼びかけました。

当日はお父さんメンバーが8名と、キャンプ帰りに関西に来ていたケニアの留学生リーダーギリも含めて、9名の男性が集まりました。

まずは、自己紹介から始まり、それぞれ自分の近況やセルラスのことなど、お酒が進むにつれ、たくさん話されていたようです。

「奥さんがセルラスやっているお陰で、自分や子どものことをうるさく言わないから助かってます」というお父さん。(ママごめん)

「実は、セルラスにはお父さんの力が必要だと思ってました！密かにですが」という声。

「妻が講演会を聞いてきたんですが、そういう活動なら是非やるべきだと私が言ったんです」と嬉しいお話も。お父さんたちだからこそできる何かをしたいなあという声も。

この8名が発起人となり、セルラス関西お父さんの会(仮称)が発足することになりました。

お父さんたち、是非ご参加を！そして将来は関東のお父さん方とも、交流の輪を広げて行きましょう。



セルラスクイズ

Q1：アメリカ留学中の樋田奨平くんは、ホストファミリーと別荘の森を散策しました。その時、家族は何を持って出かけたでしょう？

Q2：アメリカ留学中の三宅咲良ちゃんは、同学年のホストの呼び名を「ティモシーだからティムって呼ばれるのと同じだ!」と思いました。ホストの女の子の呼び名はサム。さて、本名は何でしょう？

答えは、NPO法人多言語広場CELULASホームページ、アメリカ公立高校交換留学マンスリーレポート8月号に掲載しています！探してみてくださいね！！

スーパーピアザ だより

今年からピアザを超えて集まる場として、月1回開催しているスーパーピアザ。(以後SPと表記します)実際にSPの作り手を体験した、奥野さんの感想です。

梅田ピアザ 奥野 千重美

7/24の関西SPは、梅田ピアザのお母さん、お父さん、子どもたちが進行を担って頑張りました。ロールプレイ・ゲーム・グループディスカッションの後、夏の国際交流・キャンプ・そして1年間のアメリカ公立高校交換留学プログラムに参加する子どもたちの決意表明を聞きました。私は、このSPを梅田ピアザが担当して、企画・進行をする事が決まった時、「面白そう!」と思いました。SPの作り手になることで、改めて自分が今、セルラスで感じている事に注目でき、メンバーの意見やアイデアを持ち寄り、コミュニケーションを重ねることができました。どんどん話が膨らみ、一つのことを作り上げる楽しさがあり、日常のピアザとは違うワクワク感がありました。そして限られた時間の中で準備する団結力も実感しました。ここぞという時の行動力が日常のピアザで育てていたのだと実感しました。SPを通し、一人ひとりのメンバーが活躍の場をいただけたことは嬉しく、自信にもなりました。そして何より、日常のピアザにない緊張感を味わう事は、すごく刺激的でした!

INFORMATION

多言語活動フォーラム2016

10月8日(土)~10日(月・祝)愛知県知多半島で開催!

セルラスが多言語活動を始めて、来年で丸15年になります。国際社会で役立つ力を育てられる多言語活動は、今後、教育現場や社会に取り入れられ、広く活用される活動だと私たちは確信を深めています。

このたび、会員のみならず一般の方にも広く参加を呼びかけ、「多言語活動フォーラム」を初めて開催いたします。フォーラムでは、多言語活動の実践を通して見つけてきたことをテーマに、分科会やグループディスカッションの場を作り、皆で検証していきます。

分科会テーマ

- ◆セルラスが社会を変える ◆3原則徹底検証 ◆自分のビフォーアフター
- ◆国際・多国間交流 ◆赤ちゃんの母語習得 ◆青少年育成 など

*分科会以外にも、楽しく交流できるプログラムがたくさんあります。

フォーラムでのディスカッションの詳細は後日、皆様にもご報告します。どうぞお楽しみに!

ハハハは名女優?
高山 木曜ピアザ よたん



寄稿文&4コマまんが随時募集中!

(詳細は、本部事務局広報プロジェクトチームまで)

セルラスでは、全国各地で様々なイベントを開催中です。詳しくはセルラス ホームページをご覧ください!メルマガも随時配信中!



セルラス 検索

発行元

ピアザ セルラス

NPO法人 多言語広場CELULAS

本部事務局

〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-23-1 コーポイト1038

TEL: 03-5333-8202 (代表) FAX:03-5333-8203

関西事務所

〒553-0007

大阪府大阪市福島区大開1-10-10

TEL&FAX: 06-7493-7931 (代表)

URL: <http://www.celulas.or.jp>

e-mail: info@celulas.or.jp

= 編集後記 =

毎回の編集作業ではかなり鍛えられます。たとえば今回韓国交流ページでは、全員の感想文を読み、抜粋し、苦勞して記事にしましたが、数回のミーティングを経て、全一からやり直し。でも意外とショックはありませんでした。良いものを作ろうと、話し合った結果でした。そこには、出来上がるまでのプロセスを純粋に楽しむ自分たちがいました。

セルラスの活動には、正解も間違いもありません。正解だけに焦点を合わせ、表面に見える結果だけを気にしていると、活動の面白さに気づくことができません。仲間と模索しながら自分で体感し、見つけていくプロセスの面白さを、私たちはセルラスで初めて知りました。セルラスは、『人と一緒に』楽しんで見つけていける場所なのです。

毎週のピアザを基盤に、様々なプログラムを通して、人間力・コミュニケーション力・思考力を培っています。この環境はすでに用意されているものではなく、会員一人ひとりが創っています。だからこそ、セルラスの活動は滞ることなく、一つの結論に固執することもなく、日々試行錯誤しながら進化していくのだと思います。

多言語活動の体験から見てきたもの、これを私たちはまだ十分にことばにほどけていません。今年初開催のスーパーピアザや多言語活動フォーラムを通してこれからも深めていきます。次は何を見つめるのか!?一緒に楽しみましょう!

広報プロジェクトチーム一同